

富士見市文化芸術振興条例等策定検討委員会 第7回会議録	
日時	平成24年1月25日(水)18:30~21:30
会場	富士見市役所 市長公室
出席者 (欠席者)	<p>■委員(順不同・敬称略) 加藤健司、西村繁雄、野村東央留、秋元節子、阿部恵美子、吉川節男、井上一晴、並木克美、松井憲太郎、今井寛</p> <p>■専門委員(敬称略) 市橋秀夫</p> <p>■事務局 市川地域文化振興課長、近藤主査、原山主事補</p> <p>《欠席者》</p> <p>■委員(順不同・敬称略) 岡田一忠、大橋民子、山下洋子、多田淳之介</p>
傍聴人	なし
会議内容	<p>1. 会議開会 地域文化振興課長</p> <p>2. あいさつ 加藤委員長</p> <p>3. 資料確認 事務局より、資料の配布・説明を行なった。</p> <p>4. 議事 進行：委員長 (1) 前文の討議 委員長) 今日、前回会議で提案した前文の素案と、それに昨日行われた事前会議での討議内容を加味して修正した改定案という、2種類の前文案をお渡ししている。忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>ポイント1)「市民と行政が協働した営み」という表現について</p>

……市民の多種多様な文化活動や、公民館・交流センター・富士見市民文化会館キラリふじみで行なわれる事業を通じて、当市の文化芸術活動は地域に根付いてきました。こうした市民と行政が協働した営みは、多くの市民にとっての誇りでもあります。……

専門委員) この「協働」という言い方について、事前会議で議論になった。協働という言葉が市民にとってわかりづらいのではないかという意見があった。

委員) 協働という言葉は、確かに一般的にはあまり使われない。

委員) 「市民の多彩な文化活動」の中には、市民が自主的に行っているものがある。すべての文化芸術活動が、行政との協働で行われているとは限らない。

委員) 最後の一文だけを読むと、「市民と行政が協働した営み」だけが「誇り」である” という意味にとられかねない。

委員) 「市民と行政が協働した営み」を、別の言葉で言い換えては。

委員) 「文化芸術は多くの市民の誇り」だと位置づけたい。

専門委員) それでは、「文化的な営み」としてはどうか。

ポイント1) 「市民と行政が協働した営み」



「文化的な営み」とした。

ポイント2) 子どもたちと文化芸術について

……文化芸術は、市民ひとり一人の豊かな生活と、まちづくりを進める活力を育む、私たちに欠くことのできないものです。たとえば、質の高い文化芸術を身近にふれることは、次世代を担う子どもたちの生きる力や豊かな心を育てていきます。……

委員) 「たとえば」という表現が使われているが、これだと

「子どもたち」のことが「いくつかある事柄の中での一例」という位置づけで、他の事柄と並列な扱いである。そうではなく、未来ある子どもたちや青少年に対しては特に重点を置いていきたいと考える。この思いは、すべての委員の中にあるのではないか。

委員) 「たとえば」という言葉に違和感がある。「特に」に変更してはどうか。

専門委員) 「子どもたちを育てる」という意味のことを前半に置いては。

委員) それで良いと思う。

委員) 学校教育の理念の中では、「生きる力」は「知・徳・体」で構成されるという定義である。「知・徳・体」とは、それぞれ「確かな学力」「豊かな心」「健康・体力」を意味している。

専門委員) 「生きる力」という言葉は学校教育の中で定義されることにとどまらず、社会の中ではまた違った位置づけがあるのではないか。文化芸術は、子どもたちが未来を生き抜くための強さを育むためにも重要である。

委員長) 確かに、豊かな心が生きる力につながっていくことになる。文化芸術が、学校教育においても社会においても大切な、総合的な力を育むという意味にしたい。

ポイント2) 「たとえば、質の高い文化芸術を身近にふれることは、次世代を担う子どもたちの生きる力や豊かな心を育てていきます」

↓

「次世代を担う子供たちの豊かな心と生きる力を育てていくためにも、日頃から多彩で質の高い文化芸術にふれることが大切です。」

ポイント3) 「絆」という言葉について

……文化芸術の振興は、このまちを愛し、このまちに集う人びとの多様な絆を深めていくと同時に、このまちを広く発信するうえの重要な役割を果たします。……

事務局) 第3条の基本理念にも「絆を深める」という表現があるが、前文では「多様な絆」という表現になっているため、意味を確認したい。

委員) 多様な絆とは、文化芸術をきっかけとして「このまちに集った人びと」が、新しい関係性を築くという意味ではないか。

委員) 「従来のコミュニティの連携をより強固なものにする」というよりは、「文化芸術によって新しい関わりが生まれる」という意味だ。

委員) では「結びつきを生む」と表現してはどうか。

ポイント3)「文化芸術の振興は、このまちを愛し、このまちに集う人びとの多様な絆を深めていくと同時に、このまちを広く発信するうえの重要な役割を果たします。」



「文化芸術の振興は、このまちを愛し、このまちに集う人びとの結びつきを生むとともに、このまちを広く発信する上で重要な役割を果たします。」

委員) 「広く発信する」という表現だが、よりダイナミックに、世界に視野を広げるような表現にしたい。子どもたちが世界で活躍できる一流のアーティストに育てゆくという目標を持つ必要があるのでは。

委員) 前向きであることは良いと思う。

委員) 富士見市における文化芸術振興の目的は、世界に通用する人材を輩出することだろうか。発展の結果として、世界的な優れた人材を生み出せるかもしれないが、それが目的ではない。

専門委員) 長野県松本市が制定した松本市文化芸術振興条例には「国際的な交流」という言葉が出てくるが、これはもともと松本市が長野県を代表する国際都市だという固有の事情を反映してのことだ。富士見市にはそうした背景がないため、唐突ではないか。

委員長) 逐条解説の中に「世界的な視野をもつ」といった文言を入れるということではどうか。

委員) 了解した。

前文の結語については、次回の事前会議で決定することとし、委員の意見を募ることとした。

(2) 条文全体の討議

特に問題点は指摘されなかった。

(3) 今後のスケジュール

(4) 次回会議日程について

政策会議終了後に調整することとした。

5. 閉会あいさつ

委員長

以 上

富士見市文化芸術振興条例等策定検討委員会 第7回会議 次第

日時 平成24年1月25日(水)

午後6時30分から

場所 富士見市役所 市長公室

1 開 会

2 あいさつ 委員長

3 資料確認

4 議 事 議長 委員長

(1) 前文の討議

(2) 条文全体の討議

(3) 今後のスケジュール

庁内連絡会議 平成24年2月3日(金) 午前10時30分

事前会議 平成24年2月7日(火) 頃予定

政策会議 平成24年2月14日(火) 午前9時30分

パブリックコメント 平成24年3月21日(水)～4月20日(金)

(4) 次回会議日程について

平成24年2月 日()

(5) その他

5 閉 会